

群馬県産業経済部商政課 御中

**平成29年度  
地域資源を活用したサービス産業連携促進事業  
コンサルティング業務  
実施報告書**

(平成30年3月28日)

(株)日本旅行 (日本旅行総研)

# 地域資源を活用した サービス産業連携促進事業の概要

## 1. 事業の趣旨・目的

サービス産業は、小売業、飲食・宿泊業、介護・医療など幅広い分野に及んでおり、総生産額や従業者数において、日本経済全体の約7割を占めるまでに拡大している。また、地域における役割や雇用の確保という面においても存在意義は大きいものとなっている。

一方、群馬県内にはサービス産業や地域振興に資するような潜在的資源が豊富に存在している。

そこで、専門的な見地からコンサルティングのできる事業者へ委託し、県内の意欲ある事業者等に対して地域資源を活かし連携した新しい事業の展開が可能となるよう、学習・実践の機会を提供する。

## 2. 事業の内容

本事業においては、以下に掲げる取組を実施する。

- (1) 地域資源を活用したサービス産業の連携について学習・実践していく機会の提供
  - ・参加事業者等が地域資源の価値を再認識し、連携して新しい事業を展開する可能性について学び、実践する。
  
- (2) 事業成果の共有
  - ・コンサルティング事業者は事業終了後に実績報告書を作成し、取組成果とそのポイントを広くPRする。
  - ・参加事業者等は、本事業で学んだ内容や実践した事例について積極的な情報発信に努める。
  - ・県は、成果について参加事業者等が発表する機会を提供し、県ホームページに掲載する等周知する。

### 3. 参加事業者

参加した事業者・参加者

事業者名・業種	お名前
不二野家（旅館業）	黒澤 昭司 様
今井挽物工芸社（木工品製造販売）	今井 正高 様
物産センター山里（飲食店）	塚田 節子 様
鈴木ファーム（農産物加工販売）	鈴木 俊史 様
すりばち荘（旅館業）	黒沢 忠興 様
Café Yotacco（飲食店）	黒澤 恒明 様
有限会社ソルチ（無菌培土製造販売）	中村 一女 様

### 4. コンサルティング業務事業者

名 称 株式会社日本旅行

所在地 東京都中央区日本橋1-19-1

### 5. 事業のスケジュール

- ・2017年11月～2018年3月  
コンサルティング（アドバイザー）業務
  - ・ディスカッションのファシリテート
  - ・参考事例等の提供
  - ・事例発表会における事業取組事例発表
  - ・本報告書作成

※詳細スケジュールは次ページ参照

# 事業の取組紹介

## 1. 事業（コンサルティング）の日程および流れ

<実施日程>

開催回数	日付	開催形式	内容
第1回	11月24日	キックオフ ディスカッション	・自己紹介 ・課題等ディスカッション
第2回	12月7日	ディスカッション	・地域資源の分析 ・課題の確認、共通課題の確認 ・議論テーマの設定 ・取組内容の検討 など
第3回	12月14日	ディスカッション	
第4回	12月21日	ディスカッション	
第5回	1月18日	ディスカッション	
第6回	1月25日	ディスカッション	
第7回	2月8日	ディスカッション	
第8回	2月15日	成果および 発表会打合せ	
第9回	3月7日	成果発表会	成果発表会に出席
	3月	成果報告書の ご提出	

## 2. 実施内容

### (1) 第1回開催

開催回数	第1回
開催テーマ	ブリーフィングおよびディスカッション
実施日時	平成29年11月24日(木) 14:00-15:30
実施場所	上野村商工会 会議室
進行・アドバイザー	株式会社日本旅行(日本旅行総研) 砂子
出席者	<p>&lt;事業者&gt;</p> <p>不二野家：黒澤様                      今井挽物工芸社：今井様          鈴木ファーム：鈴木様              物産センター山里：塚田様          ソルチ：中村様</p> <p>&lt;関係機関等&gt;</p> <p>上野村商工会：飯塚様              上野村：黒沢様          上野村産業情報センター：小池様</p> <p>&lt;群馬県&gt;</p> <p>藤岡行政県税事務所：岡田様          商政課(宮下様、瀬川様、羽鳥様)</p>
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ご出席者の自己紹介</li> <li>●ブリーフィング</li> <li>●参加事業者様が抱える課題の確認</li> </ul>
詳細内容	<p>1、ご出席者の自己紹介          事業開始初回にあたるため、冒頭に自己紹介を行った。</p> <p>2、当事業の趣旨と目的          ・地域資源活用          ・連携して新しい事業を展開する可能性を学び実践</p> <p>3、進め方とスケジュール計画          配布資料：想定スケジュールに沿って説明</p> <p>4、以前の取組紹介          配布資料：以前の取組に沿って説明</p> <p>5、事業開始にあたって          ○事業の特徴を意識した取組み          ・参加者は意欲のある県内サービス産業事業者等のグループ(参加者が主役)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門家がコンサルティング＝フォロー</li> <li>・ 地域資源を活用、参加者同士が連携した取組み →新しい事業の展開に向けた学習や実践の機会</li> </ul> <p>○前例にとらわれず、上野村らしい取組み、 参加事業者様らしい取組みを</p> <p>6、参加事業者様が抱える課題の確認</p> <p>1) 高齢化に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 村の高齢化、若い人材の流出 (働くところはあるが人がいない)</li> <li>・ 隣の南牧村は高齢化率ワースト1位。神流町、下仁田町も高い。</li> <li>・ Iターンは多く定住率は高い一方所得は低く充足感が乏しい。</li> </ul> <p>2) 後継者難と担い手不足に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後継者不在、育成も困難</li> <li>・ 商品製造（制作）が追いつかない</li> <li>・ お客様数の増加・・・お客様との会話機会の拡大</li> <li>・ 資源の有効活用・・・素晴らしい自然環境を活かした取組</li> <li>・ アピール強化・・・村の良さ（景色・空気等）のアピール</li> <li>・ 後継者募集をアピール</li> </ul> <p>※自社の課題よりも地域の課題が多めに出された。 地域課題の解決＝自社課題の解決として取組みを進める。</p>
--	---

次頁には配布したレジメを添付。

※レジメの他、「前回の振り返り」についても配布をした。

※以降、毎回同様。

参考：第1回開催時の配布レジメ（主要部分を抜粋）

平成29年11月24日

「地域資源を活用したサービス産業連携促進事業」

第1回レジメ

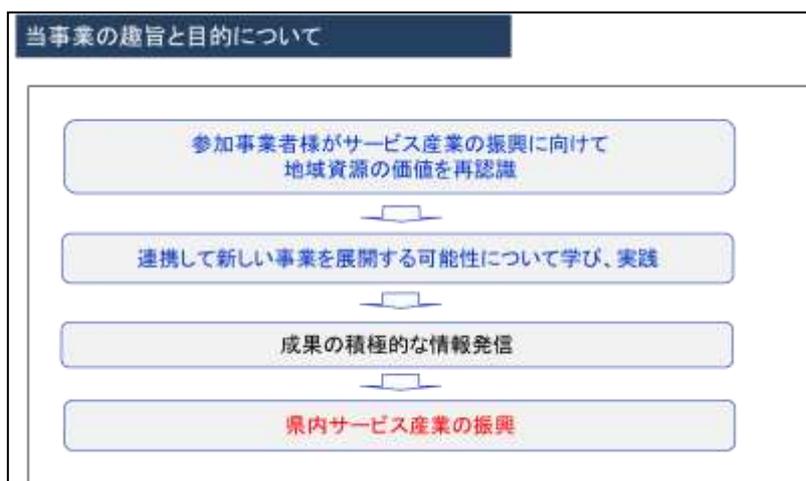
■開催日時 平成29年11月24日（木） 14:00より15:30まで

■本日の予定内容

1、ご出席者の自己紹介

（各事業者様、群馬県、担当アドバイザー、その他出席者）

2、当事業の趣旨と目的



3、進め方とスケジュール計画

<想定スケジュール>

開催回数	日付	開催形式	内容
第1回	11/24	キックオフ	・自己紹介 ・軽めのディスカッション (地域資源、課題の共有)
第2回	12/7	ディスカッション	・地域資源の分析 ・課題の確認、共通課題の確認 ・議論テーマの設定 ・取組目標の設定 ・取組内容の検討 など(※)
第3回	12/14	ディスカッション	
第4回	12/21	ディスカッション	
第5回	1/18	ディスカッション	
第6回	1/25	ディスカッション	
第7回	2/8	ディスカッション	
第8回	2/15	発表会打合せ	
第9回		発表会	成果発表会

※一部講義をする場合があります。※ディスカッション時にワークショップを行う場合があります。

#### 4、以前の取組紹介



#### 5、事業開始にあたって

##### ○事業の特徴を意識した取組み

- ・参加者は意欲のある県内サービス産業事業者等のグループ（参加者が主役）
- ・専門家がコンサルティング＝フォロー

- ・地域資源を活用、参加者同士が連携した取組み  
→新しい事業の展開に向けた学習や実践の機会

##### ○前例にとらわれず、上野村らしい取組み、参加事業者様らしい取組みを

#### 6、参加事業者様が抱える課題の確認

(2) 第2回開催

開催回数	第2回
開催テーマ	ディスカッション
実施日時	平成29年12月7日(木) 14:00-15:30
実施場所	上野村商工会 会議室
進行・アドバイザー	株式会社日本旅行(日本旅行総研) 砂子
出席者	<p>&lt;事業者&gt;</p> <p>不二野家：黒澤様                      今井挽物工芸社：今井様          鈴木ファーム：鈴木様              物産センター山里：塚田様          ソルチ：中村様</p> <p>&lt;関係機関等&gt;</p> <p>上野村商工会：飯塚様              上野村：土屋様          上野村産業情報センター：小池様</p> <p>&lt;群馬県&gt;</p> <p>藤岡行政県税事務所：岡田様          商政課(瀬川様)</p>
実施概要	<p>●上野村の課題の確認(継続)</p> <p>●上野村の地域資源</p>
詳細内容	<p>1. 上野村の課題の確認(継続)</p> <p>第二回では、最初に上野村の課題の確認を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他の地域課題については、閑散期の問題が出された。閑散期については、冬対策・シーズン対策の両面で可能性があるがシーズン対策の方が有効ではないかとの意見でまとまった。</li> <li>・課題への対策案として、「学校」(ろくろの学校)案が出された。商品づくりの前の学校を開設し教えることで木地師の村としてアピールができ、後継者育成にもつながると考えられる。              ※学校は山中や小田原にもあるが少数枠に対し世界中から来ている。</li> <li>・商工会としての課題については、「質の高い観光客に来ていただくこと」が挙げられた。              また、伴走型事業において31年度2泊3日の木工アカデミー案を検討中であり学校の準備も可能であることが伝えられた。</li> <li>・村としての課題については、「人材不足」が挙げられた。人口は大幅減ではなく微減ながら雇用したくてもできないこと、若者の考え方の変化(我慢強さの低下)なども影響し定住に結び付きづらいこと等が課題となる。</li> </ul>

2、上野村の地域資源

・第2回では、「上野村の良いところ」を出し合い、下記が挙げられた。

<p>(観光、文化、伝統)          観光素材が多い          自然 (山の四季、川、空気)          登山客が来ている          (整備、受け入れ態勢)          27滝          星空          スーパー林道 (見晴台)          ヤシオツツジ          木工はすべて本物 (材料・元から全部本物)          (農産物と食の魅力)          畑で採れたもの          じゃがいも          ゴボウ (形、かおり)          うどん (感動、地元のもの)          郷土料理 (実、こんにゃく等)          いちご          水がうまい          味噌          (ひと)          人間味、人情味、面倒見          熱心さ          挨拶ができている          (暮らし、生活)          老人、子供が暮らしやすい          バランスよく何も無い (遠すぎず違う環境)          生活のスキルが高い (技)          20-30代も多い (Iターン)          食べることにしか楽しみがない          (村、その他)          ちょうど良い大きさ</p>	<p>(観光、文化、伝統)          森林を守っている          自然 (山、水、川がきれい)          空気がきれい          道路にごみがない          中に入っても臭くない          伝統工芸、特産物          薬湯がある          スカイブリッジ          山のシーズンが長い 快適            (農産物と食の魅力)          野菜 (安全) →旅館で提供            (ひと)          人            (暮らし・生活)          病気にならない気がする          安心して暮らすことができる          Iターンの受入 (仕事も用意)          Iターンのモデルケースとなる可能性          雪が少ない          手当、子育て設備          まとまりが良い          地区ごとのまとまり          地区ごとにコンパクト          合併していない            (村、その他)          「村」というブランド          トップクラスの財政</p>
---	--

参考：第2回開催時の配布レジメ（一部抜粋）

平成29年12月7日

「地域資源を活用したサービス産業連携促進事業（上野村）」

第2回レジメ

■開催日時 平成29年12月7日（木） 14:00より15:30まで

■本日の予定内容

1、上野村の課題の確認

1) その他の地域課題について

2) 商工会としての課題（対策を含む）

3) 村としての課題（対策を含む）

・ I ターン増加に向けた取組みなど

4) 今後の課題（「この村をこうして行きたい」という課題）

5) 観光面における地域課題

2、上野村の地域資源の確認

(3) 第3回開催

開催回数	第3回
開催テーマ	ディスカッション
実施日時	平成29年12月14日(木) 14:00-15:30
実施場所	上野村商工会 会議室
進行・アドバイザー	株式会社日本旅行(日本旅行総研) 砂子
出席者	<p>&lt;事業者&gt;</p> <p>物産センター山里：塚田様                      ソルチ：中村様</p> <p>café yotacco：黒澤様</p> <p>&lt;関係機関等&gt;</p> <p>上野村商工会：飯塚様                      上野村：黒沢様</p> <p>上野村産業情報センター：小池様</p> <p>&lt;群馬県&gt;</p> <p>藤岡行政県税事務所：岡田様</p> <p>商政課(瀬川様)</p>
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上野村の地域資源</li> <li>●上野村の良いところや地域資源を活かしすべきことについて</li> </ul>
詳細内容	<p>○第3回では、上野村の良いところに加え“地域資源”について確認</p> <p>1) 上野村の地域資源の洗い出し</p> <p>    前回の「良いところ」に加え、下記が挙げられた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>不二洞、スカイブリッジ、神流川発電所、          中ノ沢森林セラピー、ホースセラピー、ガイドさん          十国峠、シオジ原生林、中止の滝、神楽・獅子舞          どんど焼き、昔の人の畑(山中に残る跡)、          お雑粥、山間集落、峠道・昔の道、ロッククライミング          ノルディックウォーク、ボルダリング、山登り          ノルディックインストラクター          しだれ桜ライトアップ、堆肥センター(原材料)、          ペレット工場(原材料)、イノブタ、イノブタ料理、          あゆ、神流川、大きな川魚、清流、泳げる川、川の駅、          釣り、釣りイベント、清流、名水、温泉、          プラム、キノコ</p> </div>

詳細内容

2) 上野村の良いところや地域資源を活かし（守るために）すべきことについて

- ・サービス産業者として何を検討するか
- ・サービス産業の振興に向けた今後の課題  
（「この村をこうして行きたい」という課題）

→飯塚様、中村様より

「21世紀の新たな循環型地域基盤創りへの挑戦！」と題してご提案を頂いた。

（例）プラムの生産者に関し後継者問題を解決するために事業を立ち上げる等

○上野村の地域資源についてのまとめ

「上野村の良いところ」		上野村の地域資源
<p>(観光、文化、伝統) 観光素材が多い 自然 (山の四季、川、 空気) 登山客が来ている (整備、受入態勢) 27滝 星空 スーパー林道 (見晴 台) ヤシオツツジ 木工はすべて本物 (材料、農産物と食 の魅力) 畑で採れたもの じゃがいも ゴボウ (形、かおり) うどん (地元も感動) 郷土料理 いちご 水がうまい 味噌 (ひと) 人間味、人情味、面 倒見、熱心さ 挨拶ができている (暮らし、生活) 老人、子供が暮らし やすい バランスよく何もな い 生活のスキルが高い (技) 20-30代も多い(Iタ ーン) 食べることしか楽し みがない (村、その他) ちょうど良い大きさ</p>	<p>(観光、文化、伝統) 森林を守っている 自然 (山、水、川 : きれい) 空気がきれい 伝統工芸 特産物 薬湯がある スカイブリッジ 山のシーズンが長い 快適 (農産物と食の魅 力) 野菜 (安全) (ひと) 人 (暮らし・生活) 病気になるない気が する 安心して暮らすこと ができる Iターンの受入 (仕 事も用意) Iター ンのモデルケースと なる可能性 雪が少ない 手当、子育て設備 まとまりが良い (地区ごと、コンパクト) (村、その他) 「村」というブラン ド トップクラスの財政</p>	<p>不二洞 スカイブリッジ 神流川発電所 中ノ沢森林セラピー ホースセラピー ガイドさん 十国峠 シオジ原生林 中止の滝 神楽・獅子舞 どんど焼き 昔の人の畑 (山中に 残る跡) お雑粥 4/3 山間集落 峠道・昔の道 ロッククライミング ノルディックウォー ク ボルダリング 山登り ノルディックインス トラクター しだれ桜ライトアッ プ 堆肥センター (原材 料) ペレット工場 (原材 料) イノブタ、イノブタ 料理 あゆ、神流川 大きな川魚 清流、泳げる川 川の駅、釣り、釣り イベント 清流、名水 温泉 プラム、キノコ</p>

平成 29 年 12 月 14 日

「地域資源を活用したサービス産業連携促進事業（上野村）」

第 3 回レジメ（検討議題）

■開催日時 平成29年12月14日（木） 14:00より15:30まで

■本日の予定内容

- 1) 上野村の地域資源は？  
（地域資源の洗い出し）
- 2) 上野村の良いところ、地域資源を活かし、守るために（すべきこと）
  - ・ サービス産業者として何を検討するか
  - ・ サービス産業の振興に向けた今後の課題（「この村をこうして行きたい」という課題）
- 3) 検討テーマの設定

ワークシート

上野村の地域資源

- 2) 課題と方向性の整理
  - ・ オフにいかにも楽しむか
  - ・ 魅力と集客、現状の打破
  - ・ ディスカッション

(4) 第4回開催

開催回数	第4回
開催テーマ	ディスカッション
実施日時	平成29年12月21日(木) 14:00-15:30
実施場所	上野村商工会 会議室
進行・アドバイザー	株式会社日本旅行(日本旅行総研) 砂子
出席者	<p>&lt;事業者&gt;</p> <p>不二野家：黒澤様                      今井挽物工芸社：今井様          鈴木ファーム：鈴木様                物産センター山里：塚田様          café yotacco：黒澤様                すりばち荘：黒沢様</p> <p>&lt;関係機関等&gt;</p> <p>上野村商工会：飯塚様      上野村産業情報センター：小池様</p> <p>&lt;群馬県&gt;</p> <p>商政課(角田様、瀬川様、羽鳥様)</p>
実施概要	<p>検討テーマ、連携した取組可能性について</p> <p>上野村の地域資源(良いところ)を活かし、我々がすべきことについて議論を実施。</p>
詳細内容	<p>参加事業者様より次のようなコメント、ご意見を頂いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下仁田かつ井のような皆で通年実施する取組をするのが良いのか、それともイベントをやるのが良いのか。(季節限定のイベントとなるのか) ※ただし人材不足。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→資源は多すぎて全部は拾いきれない。</li> <li>→何か単品で取り組むよりは組合せの方が良い。</li> <li>→一過性ではなく<u>通年を意識する</u>。 / →イノブタは高い。</li> <li>→以前、山や川等、ガイドの名人を作る案を出したことがある。</li> </ul> </li> <li>・資源は多いが人手は足りない。<u>人手不足</u>が最大の問題。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・木工における売り場スタッフに対する<u>知識の教育</u>が望まれる。</li> <li>・<u>村の技術を活かして教育の村として人口拡大</u>。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>+外部からも協力を受ける</li> </ul> </li> <li>・飲食・ガイド・農家民宿開業予定の立場からも「案内役」として深い知識が必要 →ソフト面における人材育成が必要。</li> <li>・飲食の立場から見ても、もう少し<u>商品の説明</u>をしてほしい</li> </ul> </li> <li>・魅力を伝えるのは難しい</li> <li>・「<u>山のことなら〇〇さん</u>」、これらの共通認識がない</li> <li>・民泊に着目。昔の民宿は相部屋で一緒に掃除もした。現代風に<u>シェアハウス</u>という考え方も。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→木工、農業、山岳等、各テーマ別に設置するのはどうか。</li> </ul> </li> </ul> <p>⇒これらの課題や可能性を考え、皆でやるべきことを検討する。</p>

平成 29 年 12 月 21 日

「地域資源を活用したサービス産業連携促進事業（上野村）」

第 4 回レジメ（検討議題）

■開催日時 平成 29 年 12 月 21 日（木） 14:00 より 15:30 まで

■本日の予定内容

検討課題についてのディスカッション

1) 自社目線の取組みについて

自社事業において求めること、検討したいテーマは？

求めること	
検討テーマ案	

2) 連携した取組みについて

テーマ：上野村の地域資源（良いところ）を活かし我々がすべきこと

- ・サービス産業者として何を検討するか
- ・サービス産業の振興に向けた今後の課題（「この村をこうして行きたい」という課題）

→検討テーマを各参加者ともピックアップ。

検討テーマ案
(第 2 回) ろくろの学校を開設（木地師の村としてアピール、後継者育成） (第 3 回) 21 世紀の新たな循環型地域基盤創りへの挑戦！ (第 4 回)

3) 検討テーマの設定

(5) 第5回開催

開催回数	第5回
開催テーマ	ディスカッション
実施日時	平成30年1月18日(木) 14:00-15:30
実施場所	上野村商工会 会議室
進行・アドバイザー	株式会社日本旅行(日本旅行総研) 砂子
出席者	<p>&lt;事業者&gt;</p> <p>今井挽物工芸社:今井様 鈴木ファーム:鈴木様          物産センター山里:塚田様 café yotacco:黒澤様</p> <p>&lt;関係機関等&gt;</p> <p>上野村:土屋様          上野村産業情報センター:小池様</p> <p>&lt;群馬県&gt;</p> <p>藤岡行政県税事務所:岡田様          商政課(宮下様、羽鳥様)</p>
実施概要	連携した取組案について検討を実施
詳細内容	<p>1. はじめに(自由意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村内の意見を聞くことができることは有益。</li> <li>・日本中で木地師がいない。(小田原でも1人、山中でも10人位) →日本中の課題</li> <li>・村に後継者育成の仕組みはあるが1人しか出ていない。これに対する肉付けも良い。</li> </ul> <p>※後継者育成の仕組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条例は作ったが家族の心配あり。具体的な研修や生活への道筋を提示。</li> <li>・住居と仕事ありきであるためミスマッチが起きる。</li> <li>・村への移住については生活ができるかという視点が大切</li> <li>・村内の消費を拡大したい。村民は村内でお金を使うようになると良い。</li> <li>・鹿肉を提供。先日は筋肉を工夫し調理して提供した。食べ方も説明することが可能。</li> <li>・人口は1300人から1220~1230人に減少し危惧している、Iターンの退出が見られる。 道の駅でも配置には苦勞している。</li> <li>・移住者は村のファン?・・・入口が容易であるため幅広い</li> </ul> <p>2. 参考例「オンパク」のご紹介          オンパク:地域の人と場所の魅力を体験するイベント。</p>

最初のオンパクは、2001年に別府八湯温泉泊覧会として別府温泉にて開催された。期間中は、地域内各地で魅力を知っていただくための体験プログラムを多数提供。

※観光地での開催が目立つが地元が参加するケースも多くみられる。

### 3. 検討

- ・体験プログラムは以前からあり実施している。そば、こんにゃく、みそ等。
- ・リピーターは多い。
- ・温かみのある案内をすることができる方が村内各所にいる。体験ができる村として個性が光るものを作っていけると良い。
- ・森の体験館ではプログラムは充実している。
- ・これまでの商品は「村外向け」。村内向けという発想がなかった。
- ・客として来た人がいつまでも客のまま。村のことを手伝わない。
- ・村として、移住者から次のネタを求められるが仕事が作れなくなってきている。農業を出していく必要あり。
- ・いきなりプロとなって食べていけるのかは疑問。
- ・地元の方に知っていただくことは意義が大きい。  
昨年Iターン向けに村内見学ツアー実施。「村のことを知らなかった」との意見目立つ。  
楽しそうな姿を見せ、村人に知っていただき、自覚いただきたい。
- ・秩父事件（ゆかりの地）を知らない人も多くいる。多くの方が案内可能となれば良いが。

### 4. まとめ

ターゲットは村民。村内に魅力をいかに理解いただくか。

- ・これまでの取組は村外向けが主流で、村内では認知されていないことも多い。
- ・村の魅力を伝えファンを増やすにはまず村民が良さを理解すること。(誇りを自覚)
  - ・村内のつながりを太く。

※オンパクは交流ビジネスでもある。移住者が多い上野村こそ移住者との交流を促進したい。

村に人を呼び、村の後継者を育てるために、まずは生き生きと自分たちが楽しむプログラムを実施し、村民に参加いただく。

これにより住民が村の魅力を深く理解し、説明ができるようになるとともに村に誇りを持つ。

--	--

「地域資源を活用したサービス産業連携促進事業（上野村）」

第 5 回レジメ（検討議題）

■開催日時 平成 30 年 1 月 18 日（木） 14:00 より 15:30 まで

■本日の議題

連携した取組（検討テーマ）についてのディスカッション

\* 「自社課題の解決」も意識ください。

<検討テーマ案>

①学校の開設（ろくろの学校→木地師の村としてアピール、後継者育成）

②木工における売り場スタッフに対する知識の教育。

発展 村内の技術や知識を活かして教育する（担い手や村民に対する人材育成）（※）

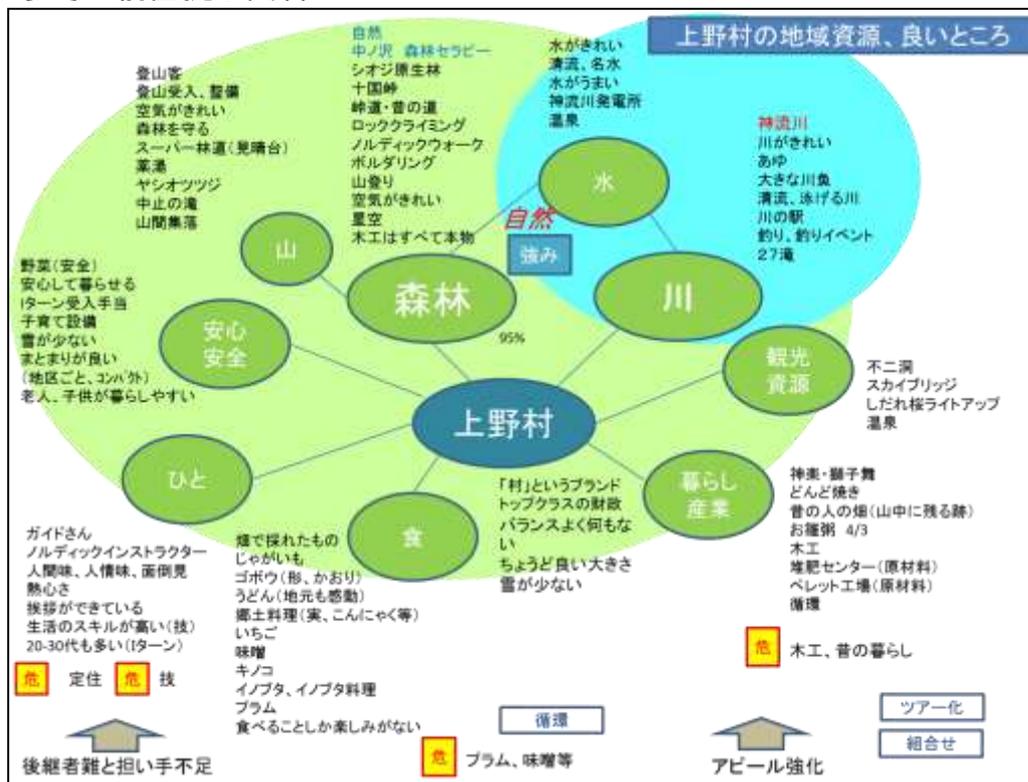
③ 21 世紀の新たな循環型地域基盤創りへの挑戦！

④いのふた料理等の共通テーマを皆で取り組む（下仁田かつ丼の取組みを参考に）

※（補足）

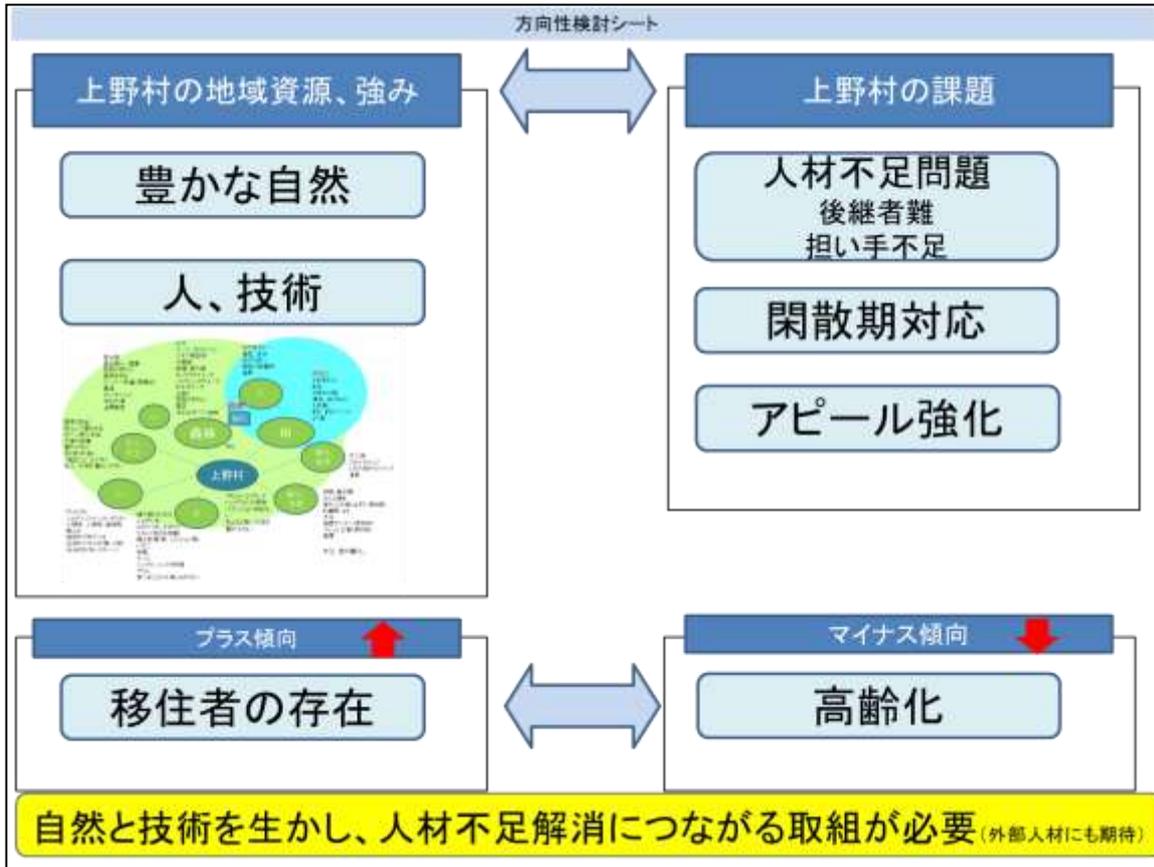
- ・教育の村として人口拡大。また外部からも協力を受けることで人手不足も解消
- ・プロを指定する「山のことなら〇〇さん」

参考：前回提示資料



<検討にあたっての参考資料>

方向性検討シート



連携した取組としての検討テーマ	地域課題の解決	地域資源の活用	希少性・オリジナリティ
①後継者育成のための学校の開設 (ろくろの学校)		○	
②村内の技術や知識を活かし教育 (木工等/担い手や村民に)		○	
③ 21世紀の新たな循環型地域基盤創りへの挑戦!		○	
④いのぶた料理等の共通テーマ		○	

検討テーマ

具体的な取組

(6) 第6回開催

開催回数	第6回
開催テーマ	ディスカッション
実施日時	平成30年1月25日(木) 14:00-15:30
実施場所	上野村商工会 会議室
進行・アドバイザー	株式会社日本旅行(日本旅行総研) 砂子
出席者	<p>&lt;事業者&gt; 今井挽物工芸社:今井様 鈴木ファーム:鈴木様          物産センター山里:塚田様 café yotacco:黒澤様          すりばち荘:黒沢様</p> <p>&lt;関係機関等&gt; 上野村商工会:飯塚様</p> <p>&lt;群馬県&gt; 藤岡行政県税事務所:岡田様          商政課(宮下様、羽鳥様)</p>
実施概要	村内在住の方(移住者等)に村の魅力や技術を知っていただき、皆で村の良さをアピールしたり、技術を継承したりするために。
詳細内容	<p>1. 議論内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ろくろは、村内の中学生に技術の授業として教えたい。以前は埼玉の技術の先生が習いに来たことあり。</li> <li>・職業訓練校にてアピールし、上野村に来ていただく方法も良い。              →全国から来ていただけるようになりたい。アカデミー計画の一環ともなる。              →聖地化を目指そう</li> <li>・挽物の他、建具屋、家具屋、竹細工、草木染の職人もいる。</li> <li>・食の観点から、ジビエ料理も考えられる。「家で肉を柔らかくする方法」などレクチャーするなど。コンテストやグランプリなども考えられる。</li> <li>・歴史をもっと知りたい。縄文式土器もある。</li> <li>・以前滝(中止の滝)を見に行ったが、素晴らしいものだった。</li> <li>・凍み豆腐(凍り豆腐)づくり、昔食べていたものも候補になる。味噌も該当する。</li> <li>・村を訪れるニーズも多様化している。上野村シンポジウム開催の際には、分科会場を〇〇さん家として実施した。このような仕組みも。</li> </ul> <p>→村内向けの企画であるため、村内有志の持ち回りで開催するようなイメージがあう。</p> <div style="text-align: center;"> <pre>             graph LR             A[村内の参加者] -- 参加 --&gt; B[教える方の家]             C[仲介役が必要] --- A             </pre> </div> <p>※仲介役が必要</p>

(上記案をもとに議論を継続)

- ・仲介役に求める役割は、①村の良さを見せること (※)、②人材を育成すること

※村の良さもあるが、ありのまま＝「村の悪いところ」を見せるのも良い (不便さなど)

→観光情報センターが候補となる。⇔現実的には、位置付け、ミッションが必要。

→主婦も考えられる。仕事として携わり、ガイド育成にもなる。こどもガイドも面白い。

⇔仕事になるためにはハードルも高い。

→STEPを分けて考える。STEP 1 は趣味的に身内や仲間を始め、STEP 2 でビジネス化をする。

- ・地域おこし協力隊も考えられる。

※どのような活動をしているか興味があるが接点は薄い。

- ・きのこセンターもよく知らない。

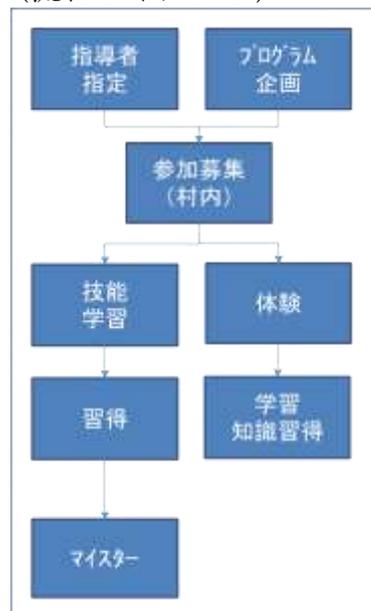
- ・村内の事業所も良く知らない。

⇒身内のメンバーからスタートし、輪を広げる。巻き込んで行く。

この仕組みを作ることが重要

★仕組みの検討にあたって

(流れのイメージ)



※最終的には聖地化を目指す。

※別紙にて、オンパク、検定、マイスター、インターンシップの比較検討資料を配布。

上野村における取組方を議論。

(7) 第7回開催

開催回数	第7回
開催テーマ	ディスカッション
実施日時	平成30年2月8日(木) 14:00-15:30
実施場所	上野村商工会 会議室
進行・アドバイザー	株式会社日本旅行(日本旅行総研) 砂子
出席者	<p>&lt;事業者&gt;</p> <p>不二野家：黒澤様            今井挽物工芸社：今井様</p> <p>鈴木ファーム：鈴木様        物産センター山里：塚田様</p> <p>ソルチ：中村様</p> <p>&lt;関係機関等&gt;</p> <p>上野村産業情報センター：小池様</p> <p>上野村商工会：飯塚様</p> <p>&lt;群馬県&gt;</p> <p>商政課(宮下様、瀬川様、羽鳥様)</p>
実施概要	<p>村内向け「村内を知るネットワーク」の具体的な仕組みと内容について</p> <p>～村内在住の方(移住者等)に村の魅力や技術を知っていただき、皆で村の良さをアピールしたり、技術を継承したりするために～</p>
詳細内容	<p>図のイメージについて具体的な手法等を議論。</p> <div data-bbox="475 1294 1278 1675" data-label="Diagram"> </div> <p>1) ネットワークのメンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今のメンバー+α程度で実施する。</li> <li>・民で実施するのが良い。行政はサポートを行う。</li> </ul> <p>2) ご自身が提供するプログラムや提供して欲しいプログラム</p>

(例)

- ・昔ながらの味噌づくり
- ・きのこセンターの見学
- ・裏通りを歩くツアー
- ・議員の仕事見学、議員と行く村巡り
- ・低質材（ペレット）工場・森林組合の見学  
→「木」について他地域からの見学も多い。
- ※ペレット工場を核に宿泊付き滞在プログラムを作る手もある。
- ・ろくろの教習所は必要。メインは木工。
- ・プチ創業的なものも考えられる。
- ・ズーコン釣り

※プログラムは自ら提供するか、または自ら企画し作るかのいずれか

※各社提供分は次回までの宿題。2/15 に発表。

### 3) 課題、工夫点

- ・参加のさせ方が課題
- ・ターゲットは村内、村外両方が考えられるが、「村を知ろう」というコンセプト。
- ※プログラムにより村内向け、観光客向け等の表示をすることも。
- ・山と川を前面に打ち出す。
- ・季節ごとにプログラムを準備したい。

### 4) 仕組みのルールや開始日など

- ・みんなが関わること
- ・4月から始めたい。
- 結果、夏のプログラムを決めることに。

(8) 第8回開催

開催回数	第8回
開催テーマ	ディスカッション最終回
実施日時	平成30年2月15日(木) 14:00-15:30
実施場所	上野村商工会 会議室
進行・アドバイザー	株式会社日本旅行(日本旅行総研) 砂子
出席者	<p>&lt;事業者&gt;</p> <p>今井挽物工芸社:今井様 鈴木ファーム:鈴木様          物産センター山里:塚田様 café yotacco:黒澤様</p> <p>&lt;関係機関等&gt;</p> <p>上野村産業情報センター:小池様          上野村商工会:飯塚様</p> <p>&lt;群馬県&gt;</p> <p>商政課(瀬川様、羽鳥様)</p>
実施概要	(仮称)「上野村を知ろう企画」の完成と発表会準備
詳細内容	<p>●企画完成に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザーが用意したチラシのサンプルをもとに掲載内容について打ち合わせ、最終確認を実施。</li> <li>・その際、プログラムの位置づけについて意識を共有した。具体的には、当プログラムはそれぞれの事業者が日付を決めて単独で提供するものであり、ツアーのように同日に行うものではないという点について意識合わせを行った。</li> </ul> <p>(参考:議論時のホワイトボードと議論風景)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・以上の議論を経て、プログラムの最終確認を行い、チラシ掲載内容についても集約をすることができるようになった。</li> </ul> <p>最終の微調整は継続するものの、集まった議論は</p>

これで終了する。

●発表会の準備と役割分担

発表会に向けた打ち合わせ内容について

1. 事例発表会の概要について
  - ・開催概要
  - ・当日の流れ
2. 事例発表内容について
  - ・発表すべき内容について
  - ・シナリオ案の配布と打ち合わせ
  - ・役割分担
3. 当日までの準備事項について
  - ・各社とも当日に向けて準備を進める

以上に沿って、アドバイザーよりシナリオを配布し、発表の概略や流れについて確認を行った。役割分担については当日までに調整を行うこととした。



平成 30 年 2 月 15 日

「地域資源を活用したサービス産業連携促進事業（上野村）」  
第 8 回レジメ（検討議題）

■開催日時 平成 30 年 2 月 15 日（木） 14:00 より 15:30 まで

■本日の議題 「上野村を知ろう企画」の完成と発表会準備

1) 提供プログラム

提供者	名称	内容	実施日

2) 名称

3) この企画の特長（メリット、効果など）

4) 仕組みのルール

5) 今後のスケジュールと役割

## 完成したプログラム

### 上野村をもっと楽しもう！上野村をもっと知っとう！

#### 1. 旅館 不二野家さん ー神流川を学ぶー

関東一の清流「神流川」で、子供は、釣り竿を持って川の中へ、初めての体験。

大人は、童心に帰り竹竿を持って、昔から子供の川遊びとして、昔からの村民は知らない人はいない。「ズーコン釣り」体験。 餌も、川の中の石をひっくり返して、虫を採り餌にします。神流川は、鮎、ハヨ、オイカワ、ウグイ、カジカなど他にも沢山生息しています

体験指導者は、不二野家館主、黒澤昭司さんです。

申込先住所：上野村川和134 TEL：0274-59-2379

定員：10名様先着順（子供は、保護者同伴でお申込み下さい。）

日程：7月31日（火）、当館に、9時に集合下さい。

所要時間：3時間、体験料：1,000円（子供）3,000円（大人）

竹釣り竿は、主催者で用意致します。

着替え等は参加者で、ご用意ください。

注）川の状況により、中止になる場合もあります。



主催：上野村地域資源活用サービス産業連携プロジェクトチーム（仮称）

## 上野村をもっと楽しもう！上野村をもっと知っとこう！

### 2. 食事処 山里さん ー食文化を学ぶー

古くから山村地域では、食文化として伝わってきた「冷や汁」。冷や汁は出汁と味噌で味を付けた、冷たい汁物料理。季節は、夏場の暑い時期に食べる。東北をはじめ日本各所の郷土料理である。そうめん又は、当店の特性うどん、自家栽培したキュウリに山クルミ、十石味噌で仕上げた、出汁は夏の暑さを吹き飛ばしてくれる。

店主の塚田節子さんが、料理教室的にレクチャーを聞きながら、参加者全員で、冷や汁づくりに挑戦！

体験指導者は、山里店長、塚田節子さんです。

住所：上野村新羽56-1 TEL：0274-59-2213

定員：15名様先着順（子供は、保護者同伴でお申込み下さい。）

日程：7月7日（土）、当店に、11時に集合下さい。

所要時間：1時間、体験料：1,000円  
（自家栽培キュウリと十石味噌のもろキュー付き）

食材、手袋、用具等は、主催者で用意致します。

エプロン・マスク等は参加者で、ご用意ください。



主催：上野村地域資源活用サービス産業連携プロジェクトチーム（仮称）

## 上野村をもっと楽しもう！上野村をもっと知っとこう！

### 3. 工房 今井挽物工芸社さん ー木工の技を学ぶー

檜に惚れた、工芸士。真空ろくろで、コップ、お椀、お盆なんでも作ってし  
まう、「ろくろ」の凄腕職人。檜の木目、漆仕上げの品々は、とても価値のある  
もの。同じ木目は、無い貴重な逸品です。上野村で、「ろくろ」を見学できるの  
は、当工房しかありません。

見学指導者は、今井挽物工芸社、今井正高さんです。

住所：上野村勝山640 TEL：0274-59-2259

定員：15名様先着順（子供は、保護者同伴でお申込み下さい。）

日程：7月7日（土）、当店に、10時に集合下さい。

所要時間：約50分間、見学料無料

注）危険な機械等が有りますので、機械等には触れないようご注意ください。



主催：上野村地域資源活用サービス産業連携プロジェクトチーム（仮称）

## 上野村をもっと楽しもう！上野村をもっと知っとこう！

### 4. 民宿 すりばち荘さん —青バトの自然観察を学ぶ—

青バト見学ツアー開催。青バトは渡り鳥でとてもきれいな警戒心の強い鳥です。

上野村に1ヶ所だけ飛来するところがあります。そこは、野栗沢温泉の源泉付近で長旅の疲労を癒しているかもしれません。早朝に、バードウォッチングしませんか。

解説者は、すりばち荘館主、黒沢武久さんです。

住所：上野村野栗沢506 TEL：0274-59-2161

定員：15名様先着順（子供は、保護者同伴でお申込み下さい。）

日程：8月6日（月）、当館に、6時に集合下さい。

所要時間：3時間、体験料：1,000円（子供）3,000円（大人）

（参加者には、青バトオリジナルクッキーをプレゼント）

現地までの送迎は、主催者で行います。

カメラ等は参加者で、ご用意ください。

天候により、雨具を持参下さい。

注)・青バトは、警戒心が強いので、必ず見学できるとは限りません。

・天候等により、中止になる場合もあります。



主催：上野村地域資源活用サービス産業連携プロジェクトチーム（仮称）

上野村をもっと楽しもう！上野村をもっと知っとこう！

5. yotacco さん —上野村の暮らしを学ぶ—

村の自然と共にあった手仕事や文化を、現代の暮らしに活かしてゆくために、農業、カフェ、グリーンツーリズム、民宿、農村体験による国際交流など、様々な業に日々挑戦する“yotacco（よたっこ）”。

畑仕事や料理など、内容はその日にできること、何でもやってもらいます。水浴びや古民家でリラックスする時間もありますよ。「あいつらいつも何やってんだんべえ」って感じで、夏の日を覗きに來てくれて～。農家のお昼ごはん付きです。

案内役は、yotacco 店主、黒澤恒明さんです。

時間：午前9時～午後6時

参加費：大人2,000円 子供1,500円

定員：10名

詳しくはHP [yotacco.com](http://yotacco.com)



主催：上野村地域資源活用サービス産業連携プロジェクトチーム（仮称）

## 成果発表会

平成29年度「地域資源を活用したサービス産業連携促進事業」成果発表会

開催テーマ	成果発表会
実施日時	平成30年3月7日（水） 14:00-16:10
実施場所	藤岡商工会議所 中ホール
開催目的	意欲のある群馬県内サービス産業事業者等のグループを対象に専門家がコンサルティングを行いつつ、地域資源を活かし連携した新しい事業の展開が可能となるよう学習や実践の機会を提供する 「地域資源を活用したサービス産業連携促進事業」の取組結果について広くPRし県内全体で共有する。
実施概要	<p>1. 基調講演</p> <p>テーマ： 「地域資源の発掘とそのブランド化～100年後も雪国であるために～」</p> <p>講師：井口智裕 氏 （一般社団法人雪国観光圏 代表理事）</p> <p>講師紹介：昭和48年、新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ。東ワシントン大学経営学部マーケティング科卒業。旅館の4代目として家業を継ぎ、平成17年、「越後湯澤HATAGO井仙」をリニューアル。現在までに「雪国観光圏」や「雪国食文化研究所」の立ち上げのほか、観光庁の観光産業検討会議の委員等を歴任している。</p> <p>2. 事業参加者による成果発表</p> <p>参加事業者が本事業を通じて学んだことや、今後連携して進めていく取組について発表。</p> <p>最初に群馬県により事業紹介が行われ、その後コーディネータが進行を担当し発表した。</p>

(1) 参加事業者

事業者名・業種	お名前
不二野家（旅館業）	黒澤 昭司 様
今井挽物工芸社（木工品製造販売）	今井 正高 様
物産センター山里（飲食店）	塚田 節子 様
鈴木ファーム（農産物加工販売）	鈴木 俊史 様
すりばち荘（旅館業）	黒沢 忠興 様
Café Yotacco（飲食店）	黒澤 恒明 様
有限会社ソルチ（無菌培土製造販売）	中村 一女 様※

※中村様は都合により欠席。

(2) コーディネーター

砂子隆志（株式会社日本旅行 日本旅行総研）

(3) 成果発表のプログラム

●自己紹介

上記参加事業者、および上野村商工会の飯塚氏より自己紹介を行った。

●取組の成果について

最初にコーディネーターより事業の進め方のポイントを解説、その後、次の項目について、コーディネーターが質問し、事業者が答える形式で進行。

① 上野村について

発表者	黒澤 昭司 様
発表趣旨	<ul style="list-style-type: none"><li>・上野村は面積の95%が森林、資源が豊富</li><li>・森林、神流川等自然をはじめ伝統行事や食など豊富な地域資源を有している。</li><li>・Iターンが多く受入態勢も手厚い。</li></ul>

② 上野村の地域資源と良いところ

発表者	今井 正高 様
発表趣旨	<ul style="list-style-type: none"><li>・皆で相当議論をした</li><li>・上野村の良いところは多数出た</li><li>・とにかく観光素材が多い</li><li>・木工、ろくろは自慢の産業</li></ul>

③ 上野村の課題

発表者	黒沢 忠興 様
発表趣旨	<ul style="list-style-type: none"><li>・村の課題はとにかく人材不足であること。</li><li>・村の高齢化が進み若い人材の流出も目立つ。</li><li>・後継者が不在で、育成も困難。</li><li>・人材不足解消のためにもアピールを。</li></ul>

④ 連携した取組の検討について

発表者	黒澤 恒明 様
発表趣旨	<ul style="list-style-type: none"><li>・最初は特産のアピールに取り組む案も出た。</li><li>・上野村は本当に貴重な木地師の村であり後継者を育成しなければならない。</li><li>・議論をしていくうちに、村人は木工のことをどこまで知っているのか、という話題に。</li><li>・村の良さを村の皆が理解することが大切。</li></ul>

⑤ 今回の取組内容

発表者	鈴木 俊史 様
発表趣旨	<ul style="list-style-type: none"><li>・「上野村をもっと知っとこう」という事業。</li><li>・移住者をはじめ、村内在住の方に村の魅力や技術を知ってもらい、皆で村の良さをアピールし、技術を継承するための第一歩。</li><li>・最初は身内のメンバーからスタート</li></ul>

⑥ 参加の感想

発表者	塚田 節子 様
発表趣旨	・皆で議論ができる良い機会となった。 ・村の良さを再確認できた。

その後、商工会飯塚氏からもコメントを頂いた。

参考：発表会の様子



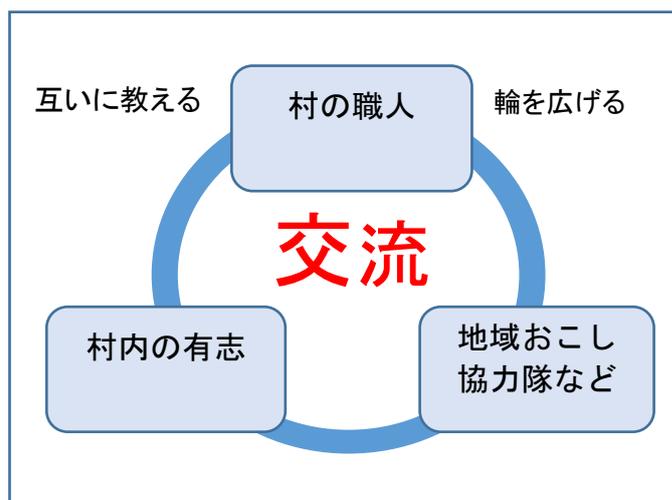
#### (4) まとめ

事業者による発表後、コーディネーターが総括を行った。

今回の成果は、村内の事業者が連携し、「村の魅力に触れるプログラム」を企画、開発、運営計画を作成したことであり、これは人材不足、後継者不足を解決するための取組でもある。

実際のところ、村の魅力をアピールしなければ旅行者は来ないが、そもそも村の魅力を知らなければアピールができない。

そのような観点で、今回は一人でも多くの村民が村の魅力を知る（深く知る）取組であり、村内連携を活かした体験・交流を通して知識を高め皆が村の宣伝役となるためのものである。



#### 3、群馬県プロフェッショナル人材戦略拠点について

最後にプロフェッショナル人材戦略拠点の紹介があり、公益財団法人群馬県産業支援機構に県が設置している群馬県プロフェッショナル人材戦略拠点の取組内容や実績等のご紹介があった。



(参考：当日の案内)

成果発表会告知物

\*\*\*\*\*

平成29年度「地域資源を活用したサービス産業連携促進事業」成果発表会

◆参加員無料

**プログラム**

1. 基調講演  
「地域資源の発掘とそのブランド化  
～100年後も富国であるために～」  
井口 智裕 氏(一般社団法人豊岡観光振興代表理事)

◆一般社団法人豊岡観光とは>  
豊岡県豊岡市、南豊岡市、津井町、十日市町、津井町、豊岡県みなかみ町、豊岡県岸和田の7町村を圏域として平成20年に設立。平成25年には「一般社団法人豊岡観光」へ移行した。  
地域の活性化に貢献していきたいが、豊岡県からのアクセスの悪さを活かした企業研修の誘致や圏域に点在する温泉地を核とした温泉観光など、観光を軸にした地域資源を推進している。

◆「地域資源を活用したサービス産業連携促進事業」成果発表  
本事業の参加7事業者が、上野村内で行ったグループワークの成果を発表します。  
【コーディネーター】 砂子 隆吉 氏(株式会社日本旅行 本事業賛助機関)

3. プロフェッショナル人材戦略拠点の紹介  
公益財団法人群馬県産業支援機構に事が設置している群馬県プロフェッショナル人材戦略拠点の施設内容や実施等のご紹介です。

日時:平成30年3月7日(水)14:00～16:00 (豊岡開校12:30～)

定員	会場	対象
先着50名 (事前申込み 要)※要予約	豊岡商工会館 議室(豊岡市033-1) 中ホール	サービス事業者経営者・人事担当者、経済関係関係職員、市町村産業振興・中小企業等担当者、その他地域振興等に関心のある方

主催:群馬県・群馬県プロフェッショナル人材戦略拠点

\*\*\*\*\*

<地域資源を活用したサービス産業連携促進事業について>

県では、意欲のある県内サービス産業事業者等のグループを対象に、専門家がコンサルティングを行い、地域資源を活かし連携した新しい事業の創出が可能となるよう、学習や実践の機会を提供する「地域資源を活用したサービス産業連携促進事業」を実施しています。  
今年度は、上野村において旅館業、飲食店、木工品加工販売、農産物加工販売、農産物土産品販売の7事業者の皆さんが、各別に互リグループワークを重ね、同村の豊富な地域資源を活用した連携や新事業の創出を検討しました。

～参加事業者～

-不二野堂(旅館業)	黒澤 昭利 氏
-今井物産工業社(木工品製造販売)	今井 正真 氏
-物産センター山草(飲食店)	厚田 節子 氏
-藤本ファーム(農産物加工販売)	藤本 俊史 氏
-すずばら荘(旅館業)	藤沢 忠義 氏
-Cafe Yotsuoo(飲食店)	黒澤 慎明 氏
-有限会社ソルテ(農産物土産品販売)	中村 一夫 氏

**会場案内** 所在地:豊岡市藤岡853-1(JR群馬藤岡駅から徒歩10分)

**参加申込書** 必要事項をご記入の上、FAXまたはメールでお送りください。  
(※期:平成30年3月2日)

出席者氏名	企業・団体等	連絡先電話番号

お問い合わせ:群馬県産業経済部政課 担当 原川  
TEL:027-226-3344 FAX:027-223-7675 E-mail:shouseika@pref.gunma.lg.jp  
※ご記入いただいた個人情報は、本事業に限り利用します。第三者提供はいたしません。  
※本発表会は、内閣府プロフェッショナル人材事業(フロンティア人材事業)との連携により実施しています。

### 3. まとめ・総括

コンサルタント（アドバイザー）によるまとめ

本年度の事業は、「地域資源を活かし、連携した新しい事業の展開を目指す」というテーマのもと、上野村において進められた。

参加者は、旅館業、飲食店、木工品加工販売、農産物加工販売、無菌培土製造販売の7事業者であり、うち6者は上野村の事業者であった。

上野村の豊富な地域資源を活用し、参加者同士が連携しつつ新たな事業展開を検討するため、専門家が助言を行いながら8回にわたり議論・グループワークを重ねた。

グループワークを進めるにあたっては、地域内の協力体制も充実しており、上野村商工会、上野村、上野村産業情報センター、群馬県藤岡行政県税事務所も出席いただき、それぞれの立場からのコメントを頂くなど、意見を交わすことができた。

具体的な事業の進め方としては、まず各社の課題や地域の課題を共有することから開始した。各社とも自社の課題よりも地域の課題については認識が強く、多数の課題が挙げられたため早々に上野村の課題の共有化を図ることができた。

その上で、グループで連携した取組について検討、ディスカッションを行った。その際の留意点としては、「ディスカッションの時間をできる限り多く確保すること」であった。今回の参加者は上野村の方々を中心であることから、既にコミュニケーションが十分に取れている状況であり、検討チームとしてのまとまりも良く議論もしやすい状況であった。しかしながら、このような地域資源を活かし、連携した新たな展開を検討するための議論の機会はあまりなかったのも事実である。したがって、一から議論を開始するつもりで進めることとし、前提条件や周知の事実などはないという認識で取組、とことん議論ができるような環境づくりを重視した。その結果、事業者から支援者からも「このような議論の機会は貴重であり非常に有益」との声が挙がった。

地域で何か新たな取組を開始しようとする場合、今すでに取組中のものを利用してしまいうケースも見受けられるが、本来あるべき姿をよく検討した上でテーマ設定を行うことが重要である。

さて、8回の検討を経て、「上野村をもっと楽しもう！ 上野村をもっと知っとう！」という学び・体験プログラムの企画・実施という成果にたどり着くことができた。

これは、村内の事業者による「村の魅力に触れるプログラム」である。村の住民（Iターンで村に来た住民も含む）が、上野村の魅力や地域資源を活かした素晴らしい企画に触れ、村のことをもっと学んで頂くためのものである。

上記のような取組と聞くと、各地で採用されている「オンパク」や「まちゼミ」と似ているように思えるかも知れないが、実は上野村の企画はその趣旨や意義において独自性がある。というのも、今回の取組は、「人材不足」という村の課題解決を優先しているためである。「人材不足」、「後継者不足」という深刻な課題を解決するための取組として、「上野村をもっと楽しもう！ 上野村をもっと知っとう！」企画が誕生した。

人を呼ぶには、上野村の魅力をアピールしなければならないが、その魅力に気づかなければアピールができない。一人でも多くの村民が村の魅力を深く知るための取組として議論の末たどり着いた今回の企画は、非常に意義があり、素晴らしい取組であると思われる。村内間の連携をうまく活かした体験・交流プログラムを通して知識を高め、村の皆が宣伝役となることを期待したい。

以上の成果をもとに、3月に実施された発表会においては無事にその成果を発表することができた。この成果が県内に波及することを願いたい。

今後は村内に浸透させること、そして継続することが重要である。

今回企画したプログラムを村内で周知し参加いただき、参加者の輪を広げ、村の魅力を理解する人を徐々に増やしたい。そして、夏を皮切りに秋、冬、春へと継続した取組となることが重要と思われる。

今回の事業では上記のような成果に至ったが、この取組をできるだけ他の多くの県内事業者にも知っていただき、参考として頂きサービス産業の発展・強化につなげていただければ幸いである。